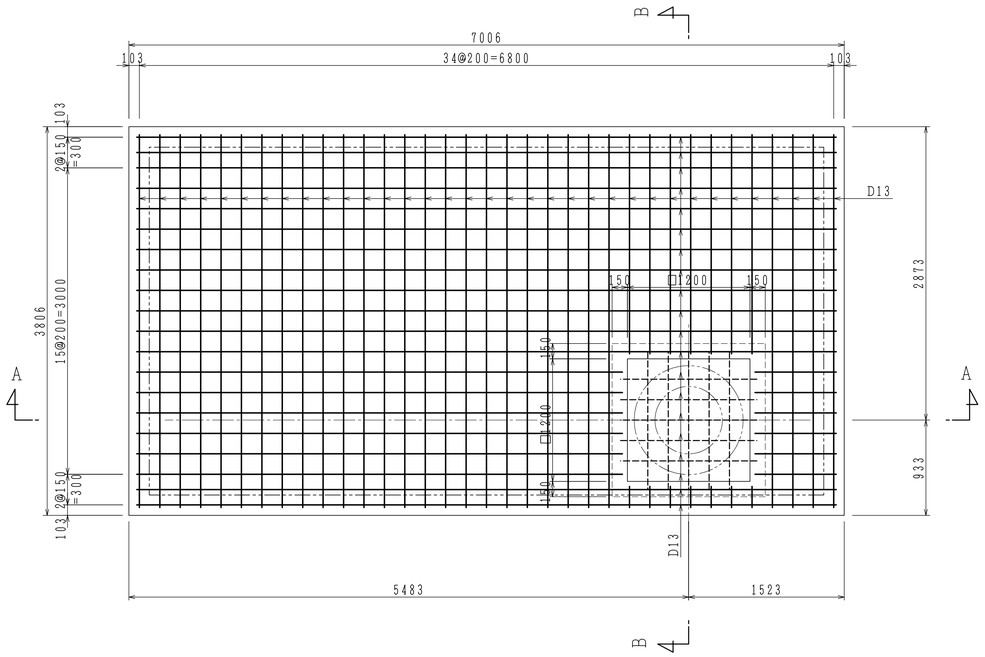
# 二次製品耐震性貯水槽（４０ｍ³）　基礎コンクリート構造図　Ｓ＝１／３０

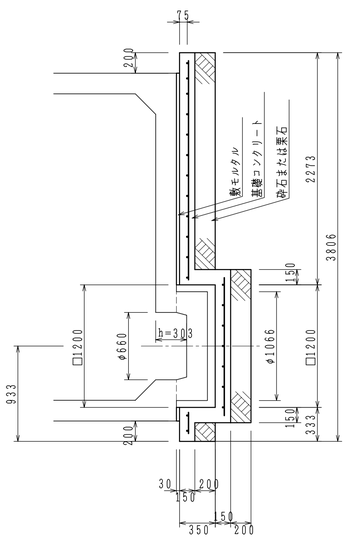
| 材　料　強　度 | | 単位　Ｎ／ｍｍ² |
|---|---|---|
| コンクリート | 設計基準強度 | $f_{ck}$＝　２４ |
| | 許容応力度 | $\sigma_{ca}$＝　９ |
| 鉄　　筋 | 許容応力度 | $\sigma_{sa}$＝１８０ |

## 平　面　図

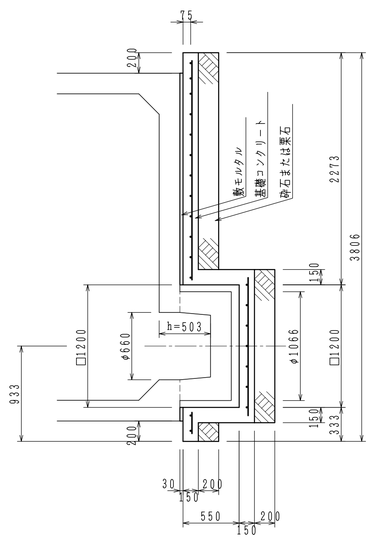



## Ｂ－Ｂ　断　面　図

ピット内の深さｈ＝３０３㎜の場合

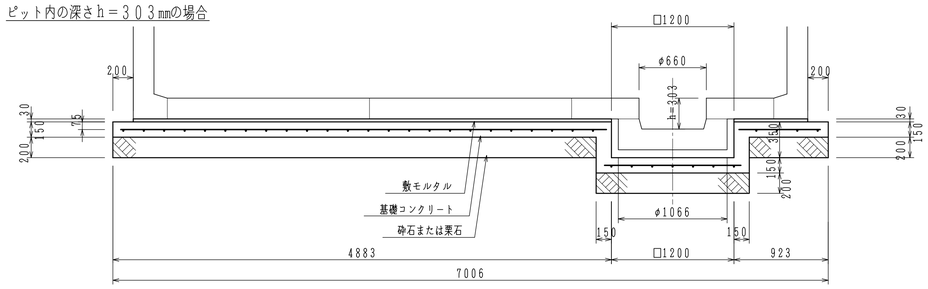



ピット内の深さｈ＝５０３㎜の場合

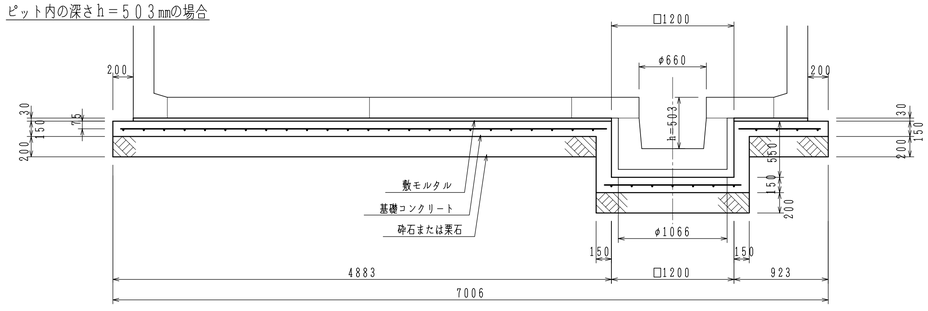



## Ａ－Ａ　断　面　図

ピット内の深さｈ＝３０３㎜の場合




ピット内の深さｈ＝５０３㎜の場合




### 基礎コンクリートについて

水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート（無筋コンクリート）を基本とし、地盤が比較的柔らかい（中位のもの）場合、砂質地盤でＮ値が５以上１０未満、または粘土質地盤でＮ値が５以上８未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応できる。また、基礎地盤のＮ値が５未満の場合は検討を要する。

無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基づくものとする。

（参考）　基礎地盤のＮ値と基礎コンクリートの関係について

| 基礎地盤 | Ｎ　値 | 基礎コンクリート |
|---|---|---|
| 砂質地盤 | １０以上 | 均しコンクリート（無筋コンクリート） |
| | ５以上１０未満 | 鉄筋コンクリート |
| | ５未満 | 検討が必要 |
| 粘土質地盤 | ８以上 | 均しコンクリート（無筋コンクリート） |
| | ５以上８未満 | 鉄筋コンクリート |
| | ５未満 | 検討が必要 |

＊鉄筋は、ＳＤ２９５またはＳＤ３４５を使用する。

BS211-2　050415

| 名称 | 二次製品耐震性貯水槽（４０ｍ³）　基礎コンクリート構造図 | | | | | | | 図番 | ＢＳ２１１－２ | 旭コンクリート工業（株） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 承認 | | | 照査 | | | 設計 | | 平成　年　月　日 | 提出 | 殿 |